



平成 26 年 8 月 22 日
ストラスブール研究連絡センター

フランス国民教育・高等教育・研究省(MENESR)

●「首相の裁定による国民教育予算の優遇」

ブノワ・アモン国民教育・高等教育・研究大臣は、首相の裁定による国民教育予算の優遇を歓迎した。2015年から2017年まで、国民教育・高等教育・研究省の予算は毎年増額され、2015年は11億5千万ユーロ増となる。これにより、国民教育では5万4千件、高等教育では5千件、農学教育では1千件、合計6万件の雇用創出が5カ年計画で行われる。高等教育では、2012-2014年の間にすでに2千件の職が創出されており、2015-2017年の間に3千件が創出されることになる。

・フランス高等教育研究省“Arbitrages du Premier ministre en faveur du budget de l'Education nationale”(2014年7月10日)

<http://www.enseignementsup-recherche.gouv.fr/cid81194/arbitrages-du-premier-ministre-en-faveur-du-budget-de-l-education-nationale.html>

●「パリ地域の COMUE 協定への署名」

2014年7月17日、ジュヌヴィエーヴ・フィオラゾ高等教育・研究担当大臣は、①パリ・リュミエール(Paris Lumières)、②PSL(Paris Sciences et Lettres)、③ソルボンヌ・パリ・シテ、④ソルボンヌ大学(①～④はいずれもパリ及びパリ近郊の高等教育・研究機関等によるコンソーシアム)に対する2014-2018年期の大学・学校共同体(COMUE)協定の調印式を実施した。これにより、教育のための204件の雇用が今後3年間で創出される。2013年7月22日の法律に則って、国民教育・高等教育・研究省は、大学と研究機関の再編成拠点協定署名を拡大させる。その際一貫して、学生の学業成就、高等教育へのアクセスの民主化、卒業生の就職、教育・研究・イノベーションによる地域の発展を、優先的目標に定めている。

・フランス高等教育研究省“Signature des premiers contrats de sites pour Paris Lumières, Paris Sciences et Lettres, Sorbonne Paris Cité et Sorbonne Universités”(2014年7月17日)

<http://www.enseignementsup-recherche.gouv.fr/cid81329/signature-des-premiers-contrats-de-sites-is-sus-de-la-loi-relative-a-l-e.s.r.html>

●「ギアナ大学の創立」

2014年7月31日、フランス政府公報に、ギアナ大学創設及び準備組織についての政令が発表

された。ジュヌヴィエーヴ・フィオラゾ高等教育・研究担当大臣は、ギニア訪問の際に本大学創立について強調した。宇宙、生物多様性、環境、健康の分野における卓越した研究拠点を創設し、ギアナに経済的・社会的発展の手段をもたらす。ギアナでは、25歳未満が人口の54%を占めており、大学創立により、若者の高等教育進学率の向上に貢献するものと期待される。また、今後4年間で60件の雇用創出が見込まれる。

・フランス高等教育研究省 “Création de l'université de Guyane” (2014年8月1日)

<http://www.enseignementsup-recherche.gouv.fr/cid81606/creation-de-l-universite-de-guyane.html>

●「1年前に採択された高等教育研究に関する法律の実施状況」

2013年7月22日に高等教育と研究に関する法律が可決されてから1年が経過し、これまでの実施状況一覧が公表された。概要は以下の通り。

○学生に関すること

1. 中等教育から高等教育への、事前のオリエンテーション及び進路決定:学部入学前後6年間のオリエンテーション体制 実施済
2. 職業バカロレア取得者の STS(上級技術者養成課程)への優先的進学と技術バカロレア取得者の IUT(工業技術短期大学)への優先的進学 実施済
3. 学士号の改革:学位種別の簡素化、段階的な専門化、教育改革 実施済
4. 学生の学業成就を推進するデジタル支援(MOOCsの導入等) 実施済
5. 学士課程を中心とした、スタージュの指導とカリキュラムへの組み込み 実施済
6. 各高校の優秀な生徒10%に選択的課程への進学権を与える 実施済
7. 高校-大学間の障壁除去 実施済
8. 医学教育へのアクセスの多様化と進路変更のしやすさの改善 実施済
9. 学生のモビリティ強化 実施済
10. 高等教育における職業教育の展開:2020年までに職業教育を倍増させ、就職率を向上させる 実施中

○大学に関すること

1. 大学内に ESPE(教員養成・高等教育のための高等教育機関)を創設 実施済
2. 留学生・外国人研究者の受け入れ強化 実施済
3. 男女平等の重視:全ての公的機関における男女バランスの公表 実施済
4. 外国語による教育の許可 実施済
5. ガバナンスの改善、より民主的で平等に:学術委員会、理事会、外部者の投票権等 実施済
6. 高等教育に関する国の戦略の精緻化(StraNES) 実施中
7. 共同指導を取り入れた、国民教育・高等教育・研究省の高等教育全体に関するコーディネーション強化 実施中
8. 大学・研究機関分布図の再定義:国際的魅力と関係機関間のシナジー強化のための25グループへの再編成(COMUE、連合) 実施中

○研究に関すること

1. 研究に関する国の戦略を決定する研究戦略会議の設置 実施済
2. 研究成果の移転と起業の推進
 - ・2014年2月17日法令:研究成果の移転と起業のための特別法 実施済
 - ・学生起業家の身分と対応学位を伴う改革・起業・移転のための学生拠点(PEPITE)の創設 実施済
 - ・知的財産制度の簡素化 実施中
3. 欧州の Horizon2020 プログラムに沿った国家研究戦略(SNR)の仕上げ 実施中
4. 幹部公務員における博士学位保持者の活用 実施中
5. 評価手順の簡素化 実施中

・フランス高等教育研究省“22 juillet 2013 - 22 juillet 2014 : ce que change la loi relative à l'enseignement supérieur et à la recherche”(2014年7月23日)

<http://www.enseignementsup-recherche.gouv.fr/cid81469/22-juillet-2013-22-juillet-2014-ce-que-change-la-loi-relative-a-l-enseignement-superieur-et-a-la-recherche.html>

フランス高等教育研究省(MESR)・フランス国立研究機構(ANR)

●「ANR2014年包括的プロジェクト第1回選考結果 3億ユーロのうち79%は基礎研究に」

ANRの2014年包括的プロジェクト公募の第1回選考結果が発表された。それによると、以下の10の社会的挑戦項目にわたり、総計711件のプロジェクトが採択され、これらには2014年行動計画予算の65%を占める3億ユーロが計上される。

- ・気候変動への適応と資源の節度ある管理:52件
- ・クリーンで安全かつ効率的なエネルギー:48件
- ・産業回復の推進:84件
- ・健康と福祉:236件
- ・食の安全と人口学的挑戦:36件
- ・モビリティと持続可能な都市システム:22件
- ・情報通信社会:105件
- ・革新的、統合的、適応的な社会:35件
- ・欧州と欧州市民の自由と安全:11件
- ・あらゆる知識:82件

以上の711件のうち79%が基礎研究である。

・フランス高等教育研究省“300 millions d'euros de l'A.N.R. pour la recherche dont 79% pour la recherche fondamentale”(2014年7月18日)

<http://www.enseignementsup-recherche.gouv.fr/cid81408/300-millions-d-euros-de-l-a.n.r.-pour-la-recherche.html>

・ANR“Appel générique 2014 : publication des résultats”(2014 年 7 月 18 日)

<http://www.agence-nationale-recherche.fr/informations/actualites/detail/appele-generique-2014-publication-des-resultats/>

フランス国立科学研究センター(CNRS)

●「CNRS 国立宇宙科学研究所長に Pascale Delecluse 氏が指名される」

海洋学者であり気候学者である Pascale Delecluse 氏が、Alain Fuchs CNRS 会長から、CNRS 国立宇宙科学研究所(INSU)の所長に指名された。氏は、2013 年 10 月から臨時所長を務めていた INSU 固体地球科学部門長補佐の Michel Diament 氏の後を継いで 2014 年 7 月 1 日に就任した。

・CNRS “Pascale Delecluse, nouvelle directrice de l'Institut national des sciences de l'Univers du CNRS”(2014 年 7 月 1 日)

<http://www2.cnrs.fr/presse/communiqu/3641.htm>

●「SuperCam が、NASA 火星計画 2020 の搭載研究装置に選ばれる」

2014 年 7 月 31 日、米国航空宇宙局(NASA)は、火星計画 2020 の探査機搭載機器に、SuperCam を採用することを発表した。この新装置は、ロスアラモス国立研究所(米国)の Roger Wiens 博士の研究グループと惑星学・天体物理学研究所(IRAP、フランス)の Sylvestre Maurice 博士の研究グループが、バリアドリド大学(スペイン)の Fernando Rull 教授の研究グループの協力を受けて、共同研究を進めた産物である。火星計画 2020 は、2020 年 7 月に開始され、2021 年 2 月に火星に到達する予定。

・CNRS “L'instrument SuperCam sélectionné par la NASA pour la mission Mars 2020 ”(2014 年 7 月 31 日)

<http://www2.cnrs.fr/presse/communiqu/3677.htm>

フランス国立研究機構(ANR)

●「2015 年行動計画の発表と包括的プロジェクトの公募開始」

2014 年 6 月 26 日、ANR 理事会は、2015 年行動計画を採択し、同 7 月 10 日に公表した。本計画は、主要な社会的挑戦、研究フロンティア、欧州研究エリアとフランスの国際的魅力的構築、研究の経済的影響と競争力、の 4 つの構成要素からなる。包括的プロジェクト公募は、7 月 10 日に開始され、10 月 16 日 13 時に締め切られる。また、MRSEI、ハイレベル研究者の受け入れ、LabCom、OH risque、JPI や ERA-NET タイプの欧州プログラム等の、個別研究助成も相補的に実施される。

•ANR “Publication du plan d’action 2015 et ouverture de l’appel à projets générique” (2014年7月9日)

<http://www.agence-nationale-recherche.fr/informations/actualites/detail/publication-du-plan-daction-2015-et-ouverture-de-lappel-a-projets-generique/>

●「地球環境の変化：フランスが Future Earth 国際事務局を共同で活性化」

ANR は、国民教育・高等教育・研究省 (MENESR)、AllEnvi 同盟 (Alliance nationale de recherche pour l’environnement: 環境のための国の研究機関による同盟) と共に、国際コンソーシアム Future Earth プログラムの事務局の活性化を任されることになった。Future Earth は、フランス、米国、日本、ケベック、スウェーデンが参加する、持続可能な開発のための新たな世界的プログラムで、その事務局は、コーディネーション、コミュニケーション、研究推進、キャパシティ・ビルディング、とりまとめ及び将来展望の作成を担っている。近年、ANR、国民教育・高等教育・研究省 (MENESR)、AllEnvi 同盟は、共同で本コンソーシアムにおけるフランスの地位向上に取り組んできた。Future Earth 事務局への参加は、その成果を示している。

•ANR “ Changements environnementaux globaux : la France coanimera le secrétariat international de Future Earth” (2014年7月9日)

<http://www.agence-nationale-recherche.fr/informations/actualites/detail/changements-environnement-aux-globaux-la-france-coanimera-le-secretariat-international-de-future-earth/>

●「ExaFlop コンピューティングの日仏独プロジェクト」

ANR は、ドイツ研究財団 (DFG) と日本の科学技術振興機構 (JST) と共同で、国際共同研究プロジェクトの公募を開始する。SPPEXA-2 と命名された本イニシアティブは、これまで以上の計算・データ処理容量の実現を目指している。プロジェクトの公募は 2014年9月15日に開始予定。本プロジェクトでは、ANR は、3カ国間の共同プロジェクトに関与するフランスの研究チームを3年間支援する。

•ANR “ Préannonce : un appel Allemagne-France-Japon sur le calcul exaflopique bientôt en ligne” (2014年7月24日)

<http://www.agence-nationale-recherche.fr/informations/actualites/detail/preannonce-un-appel-allema-gne-france-japon-sur-le-calcul-exaflopique-bientot-en-ligne/>

フランス国立情報学自動制御研究所 (INRIA)

●「Integrating Linked Data 共同チーム」

Inria リール-北ヨーロッパの Links チーム (リール第1大学とリール第3大学の共同チーム) と英

国オックスフォード大学コンピューターサイエンス学科のデータベースグループは、Integrated linked data の共同チームを結成した。これは、両チーム間が数年来続けてきた交流が発展した形として実現した。本提携は、2015 年末まで続けられ、共同研究の強化を目指す。

•INRIA “Équipe associée : Integrating linked data”(2014 年 7 月 31 日)

<http://www.inria.fr/centre/lille/actualites/equipe-associee-integrating-linked-data>